鹽尻

和書門
類 一八七六九
號 一八四
函 四五
架 五
冊

内閣文庫
和書
類 一八七六九
號 四
冊 四
函 二二
架 二三

内閣文庫
番號 和 18769
冊數 45 (15)
函號 211 305

国立公文書館
National Archives of Japan

浅草文庫

○後冷泉院の長久元年奥州の安倍頼時が叛逆の事信濃守源頼義朝臣に詔して討しむ陸奥守藤原登任を以て征討使に補す頼時の子貞任宗任と称せる者共頼義を拒む頼義一方の主として攻めこれを破る

宮内省図書寮

日本政府図書

日迅

軍を進む頼義出羽の国に入り清原武則を以て軍監として奥州に入り頼時を攻めしむ頼時の子貞任宗任と称せる者共頼義を拒む頼義一方の主として攻めこれを破る

大年七月清原武則頼義と相戦しかの国の人民の家屋

一族畫作り奥州平定の事正月より起り

伊勢守藤原経清と相戦ひ経清の妻を捕へ

自屬す

○皇年代畧記云元弘三年五月自伯列謂廢光嚴帝ヲ十二月大上天皇尊号ト云ヒ同書頭注僧号ノ詔書詔朕恭
兼帝系ヲ叨拯神器ヲ王道難寧謝德於姬周之賢庸
昧可耻宜化於夷夏之俗而皇太子謙讓合道惠沢
普及今避儲位於青闈之内伴仙遊於射嶋之雲水
雖無准的之由蹤加以禮制之崇敬宜上尊号為大上
天皇普告遐邇得知朕意主者施行ヒヨ
元弘三年十二月十日一作旨
按スルニ光嚴帝ハ初後醍醐帝ノ太子ト為給リ帝

笠置入御ノ後北條高時立之為帝後醍醐天皇ノ
意ニ非ス故ニ受ル所ナリシテ位ニ即ヲ所以ニ今
皇太子ト称シテ帝位ヲ聽シ給ザリシ也
○秀吉伝記の城と笙楽屋の伝柳原家記の
大御所の中務大輔の子ニて以ての家事に従て
記そうる事冬百枚元編りして手伝ひ面目抜て
称そうとしてハ柳原ハ[illegible]
云伝ニ曰ク御ひ和といそ[illegible]
そと伝ずして故して曰ク[illegible]
始て衣食ヲ[illegible]

[illegible]

○[illegible]

[illegible]

[illegible]

○[illegible]

[illegible]

[illegible]

下すべきや 作毛等の時 [illegible]
[illegible]の四月 [illegible]
[illegible] 寛永十四年 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[

[illegible]

○敬て大坂の仏こゝろしの[illegible]山[illegible]を[illegible]将軍[illegible]

[illegible]

○[illegible]和泉守源信重ハ[illegible]親王[illegible]孫[illegible]

清[illegible]

[illegible]

○[illegible]

[illegible]

若列神明ノ内
白椿山八百比丘尼
○像實ハ八百姫明神也
神名式曰若狭国遠敷郡若狭彦ノ神社二座名神大
是若狭彦若狭比賣両神也所謂八百姫者若狭比賣
之事也俗歌

○若狭国ハ白椿八百比丘尼ハ
○若狭国ハ姓ハ[illegible]
○[illegible]
○[illegible]
○[illegible]
○[illegible]
○[illegible]
○[illegible]
○[illegible]

[illegible]

○伊水記元治元年文月[illegible]

に[illegible]しこと国古唐の伝[illegible]

○古事海府春雷落[illegible]

[illegible]八雄雷[illegible]

○右大臣藤良相延命宗親の二院と[illegible]貧孤と[illegible]

良相[illegible]

○[illegible]

[illegible]

○和列多武峯の神像破裂[illegible]

破裂し[illegible]

[illegible]

○季謙帝に道[illegible]

[illegible]

○[illegible]

[illegible]

[illegible]

捨て遠ざけし俗世のうき世のあくとうて捨て捨て
今は俗りの中人の世を思して身と捨て所と蒙る
○[illegible]
○今日ひとく宮の[illegible]の[illegible]
[illegible]宮和集[illegible]
○[illegible]の[illegible]の[illegible]
○[illegible]集[illegible]梅梅[illegible]
梅と[illegible]梅[illegible]
○水[illegible]帝の[illegible]
○[illegible]

[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]
○[illegible]人歐明青草の湖君[illegible]
[illegible]歐明[illegible]
○[illegible]
○[illegible]
○東[illegible]千葉寺[illegible]
○[illegible]
[illegible]神[illegible]
[illegible]

人等ハ手ガラとして大ク異ル所ガアル事
多カリケレ
○中比以降所々ニテ作ル書ニ寄テ喧伝スル実多カリシ
其始末ハ慶長二年ノ定用ニ詳ニ知ルベシ自分ノ考
所ハ長ク長ク思ノ外ニ思ヒ寄ラズ即チ編集ト共編ヲ
已ニ寄ヒテ喧伝ト書ケリ今ノ編ヲ比知ル
○一路居士ハ一体同時ノ人ニ
オトカラス蕃ノ好ノ作ハ其ノ事ニ
月ハ天ニ月ハ天ニ
元一路ノ句ニ
体同日

萬法路如何是一路　一力事体如何是一体
ヒヒトヒトヒ泉列ヒ
或ヒ一路ハ仏和ヒ
○宗宅物ハ多ク
古法ノ
ヒヒ
ヒテ法
只今ノ
ヒ時方ヒ
○宗祖ヒ

○墓供の儀式は如何と探れる時墓供らるゝと
入られさるしるあるべくなりて
○遥見筑波銭使文字論上ノ手ト與下ノ手
三度手ゝすあり墓供氏ハ板井入乃ゝて永仁
そすゝ字紙ゝ中ゝ
ふゝと其ゝ
○いつの時ゝ流ゝ
面と俗五のゝ
字紙合せの時ゝ
しゝ

永仁

○那古屋因幡守敦順ゝ子孫ゝ九郎と云ゝ
獄西刑部大輔ゝ
しゝ
ありゝ云
○如此の程ゝ二除良基ゝ
のひしゝ
○年代皇紀ハ中世の作ゝ
中ゝ
天禅日天狭霧　君祖之
地禅月地狭霧尊　を祭

同一殿の内には天地日月と一尊に写し奉る者なり
之を以て神仏系図の六部既に成就す
人体の六尺の仏身深秘も仏と成られと云氏大
祖と申し奉り其の仏身に八海を具し
其人体の五尺五寸の姿の如く天皇の系図の如く根本
合体の天地と天地月と形りて百五十五代の
示し給ふ〳〵なり

国常立尊　徒蔦尊（アヽナギ）　芸申久

豊斟渟尊　已上三代天地完備始法

拵ひ給ふ四尊紀に青檀城根尊と云法蔦尊なり

神皇産霊尊（カミムスビ）　尊芸申マス

国狭槌尊

かくて八尊相の人体にて天地を写して完備と
国常立の時平地地空なり天地ありて其人体と法
蔦と云ふ者なり凡海水法和てあるなり
天地開闢の定系自ら分れて
いまや高皇産霊神皇産霊八門神異名にして
八神の神と定す云神なり天孫の尊と仏身
と云ふ天のまことみてひるまことを神と云ふ
其天孫の尊と仏身と云ふこれ八宗の祖にして
其二宗狭槌なりて仏なり

天照太神

天神授天下云々 此時大神向麗王乞一玉我朝悪麗
降伏重宝而神殿納給其形九曲之宛通号八坂
之玉麗之玉神金是也云々
仏文を畧して書す是国より妄伝す
按ずるに仏教の渡る年号の事
おしへ渡と降伝しこれの伝授と云て重宝
つ玉伝りあるべしと云々
継躰天皇 日本年号善記始云 元継神帝 日伝十六年
と善記元年と
つ玉書云 二千空八年号あり 日史まるくす
史初玉年号の始 寿伝帝 年と大化と云もの

六年と白雉 白鳳八 大武 朱鳥 元年壬申
乙丑 十四年 丙戌 八年 朱鳥の元年 丁卯 八年
と云 文武 大宝 六年 辛丑 七大宝 年号也
慶雲 元年 甲寅 和銅 年号 元年 戊申
丹衣
軍衣 天武 伝と云て 王陵 神武 より始 云
或 胞衣 陰陽 和合の義 云 或 神功皇
后之時 と伝 あり 付 伝 の 神 器 年 一 の
半 磐 つ 分 切 摺 屋 伝 と 伝 て 天 の
岩 拾 と 伝 て 金 脇 の 号 と 伝 て 拾

[illegible]

○[illegible]

○[illegible]

○園天暦元年十月二日上皇出御仰云只今此御所東中門頭大敷入小死人有三十日穢御禊以下事有御迷惑云々五官官外記匡遠師茂清澄神祇官兼員兼豊明法明清明成章晴勘文云々明清勘文云新儀式云隔別門處踏同處不為穢云總門準路頭之間其所有穢之時穢人清人同通事不可有淳和由先儒勘答分明也旦義元三年七月十日左大

史宗清仰テ云伊勢大神宮御迂宮行事所被始神祇官其
行事官出入都芳門而件門今朝見附棄死人神門出入
可憚哉法明基勘云宮城門有穢之時出入人先例全
不為穢然而神事行事官出入何事乎候哉（以上両條就御問注進言上如件）

○観應元年十月四日前大判事明清法令ノ文ヲ引云
神道ハ王道ノ用ル所ニ依ルトイヘリ忽ニハ只宜ク敬愚在
ベシトソ勘ヘ申メリケル神祇大副ト部宿禰兼豊
一人大ニ怨テ法意ノ如ク勘進シテ穢ノ儀ニ非ズハ
神道ハナキ物ニテコソ候ヘト云　太平記
物ヲスルト沙汰シテ一偏ニ物ノ先例ノ沙汰

ニ自一流ヲ行ヒ来ル事ニ言ヒ合ヒ
表裏ヲ定メテト氏物ノ神祇官ノ
仍年ニ響ケ後ヒテ元ヒトヒ斯クヒ重倶ハ
仍先例ハ道理ニ依ヒ先例ヒ所ヒ
ヒ置ヒト氏ヒ家ヒ而ヒ
而ヒ勝ヒ合ヒ仍ヒ
○奥羽軍記陸奥話記頼義の安倍貞任ヒ後三年記の畫草子
義家ノ清家ヒセーヒヒヒ

[illegible]屏(ヨリビト)く仲正中[illegible]ハ拾[illegible]の[illegible]の時保[illegible]ハ
[illegible]る事徒[illegible]経り[illegible]名[illegible]何と紙ス圖ハ畫工[illegible]保[illegible]惟久
[illegible]しく[illegible]（柳氏墨手）摘[illegible]る[illegible]を意に文[illegible]の[illegible]の繪草紙[illegible]
（[illegible]行史 徒三位行平子）後七[illegible]門院[illegible]
[illegible]を初[illegible]中[illegible]二品[illegible]卷と[illegible]
堂上の[illegible]の流[illegible]中[illegible]世中[illegible]保有
の[illegible]今の[illegible]ハ[illegible]の[illegible]後[illegible]墓[illegible]の[illegible]
或人日[illegible]書の繪[illegible]の重[illegible]及び男の[illegible]
の[illegible]の[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]の製ハ
[illegible]の[illegible]全[illegible]す又男の

[illegible]今の[illegible]ハ[illegible]の[illegible]
二年[illegible]の[illegible]の[illegible]
[illegible]ハ[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]
[illegible]の

[illegible]日蓮和尚山伏[illegible]四信五行法を自
身の行儀の法と[illegible]を法華
経として南無の法と[illegible]
[illegible]道和尚列[illegible]
流の[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

○治承五年三月大中臣能親訟于関東曰去正月十九日
号能野山堪増之従類盪入伊雑宮鑽破御殿之
犯用神宝之間為一祢宜成長神主沙汰奉遷御
体於内宮之處同廿六日件輩亦襲来山田宇治

両郷焼失人屋奈取資財訖　天照大神鎮座以
降千百餘歳皇御尊座跡之後六百餘年未有
如此例云々　東鑑三

○延喜延暦曰熊野[illegible]
[illegible]
[illegible]

寄進　伊勢大神宮御厨壹處

在安房国東條郡

[illegible]

○日光山奇會記（寛永十五年戊辰）曰靈輿神遊山菅橋辺頓宮

山王摩多羅二輿従行之（羅山文集二十二）

東照權現新廟奇會記（寛永十三年丙子）曰神輿將出山僧皂

帽著袴帶短刀柱子纏而舞手延衆僧列之地上以

歌曽南台徒言謂山中摩多羅神此神好歌舞亨礼

多尼子多両童在神左右或擊鼓或舞踏蓋此表之

也於是奉慰大權現已而神輿出矣両輿扈従（両輿者山王輿日光也旧集二十三）

天海於日光山以山王摩多羅従祀之

梅延年有非摩多羅鼓舞之謂是猿樂類也大平記

云猿樂是遐齢延年之方也又梅治奇會記二輿為

山王摩多羅両神後任謂山王與日光者齟齬欤柳

任所誤歟

鈴木氏家系曰孝照天皇五十三年化人アリテ紀伊国

岩基隈地新御山ニ現ノ十尾峯ニ降臨ス時ニ漢司將

軍某ガ子真俊ト云者コレヲ鶴原ノ十二株ノ榎本ニ崇奉

謂熊野新宮是也依之真俊榎本ノ姓ヲ賜其家基成猪

子及餅餅ヲ蔗ム依テ九子ノ姓ヲ賜其子基行御馬
草トシテ稲穂ヲ奉ル依テ穂積姓ヲ賜嬬家ハ榎本氏
ト称シテ三家熊野ノ祀ヲ奉ス桓武天皇ノ御宇異賊
襲來ノ事アリ帝三家命シテ令伐賊平キ後勅賞
之ヲ

寛永系圖参考曰穂積氏ハ伊香賀色雄命之後也
色雄命孝元天皇御宇為大臣奉斎天社国社
之神熊野大神鎮座蓋此時狄漢人投化於我
者称諸蕃穂積榎本等非番別司符將軍名
亦無據後世好奇者附會造之乎

按スルニ榎本連與大伴連同祖道臣命十世孫佐
弖彦之後仲九子日臣命九世孫金村大連後也
（別無九子姓）穂積朝臣伊香賀色雄男大水口宿禰之後
也（已上見姓氏録）色男命饒速日命五世孫也夫饒速日命
児天香語山命降坐於紀伊国熊野邑（天孫本記）於此
高倉下命是神藏大神也然則穂積遠祖自神代
任熊野邑者狄其司符將軍等之説者秦徐福
入熊野故事而混而為説狄

大何内系圖

是大何内松平家家傳也或書云桃井大膳亮
満政大何内祖云々満政充將門人狄然満政永
亨間猶存生云々然則別人狄

頼政 源三位

顕綱

行重 李三郎

光將 大膳亮但馬守 母松田三郎友門 長綱女 應永 二十五年 辛 六十六 文

光綱 五郎三郎 但馬守 文明元年 百十八日三刑 吉良左 東條合戦討死 四十 文

信政 五郎三郎 大藏大輔

信負 孫太郎

元綱

重一 源左門

政房 源三郎

仲綱 伊豆守

兼綱 検非違使判官

廣綱 駿河守 大田祖

政綱 大河内太郎 左助 於宇治与父戦死

負綱 孫太郎 應永四年正月七日 卒 八十九 文

国綱 五郎三郎 母大沼田掃部助重長女

直綱 五郎三郎

秀綱 母北見頼政女

久綱 母鳥居氏 金兵衛

正国 松平右門尉

女子 天野豊前守妻

大神朝臣系圖 姓氏録曰素佐能雄命六世孫大国主之後也 家傳祖母山祇神之子大太 皆依大三榮故事附會之而已

大太

惟基 大藤大夫

惟用

惟義 緒方三郎 或作惟榮

惟綱 伯寺尾藤林等祖也

或記云同九月 天慶二年 二日丙子 任之近日東西両京大小路

衢刻本作神相對安量九厩躰髪髪方髪帛大夫頭上加冠髪

信綱 松平伊豆守 侍従 従四位下

隆綱 松平備前守 松平甚右門養子

仇綱 紀伊守

惟盛 旧杵冠者

惟俱

兼朝 豊前守 兄弟

惟兼

邊垂絵以丹塗身成緋衫色起居石同逈各異貌或
所作女形對大夫而立之臍下腰底刻繪陰陽構九宗
於其前置杯器於其上兒童猥雜行禮慇懃幣帛
或供香花号曰岐神又称御霊未知何神時人奇之云
是後世所謂幸神也

天慶七年正月九日長谷寺焼亡佛像同成灰燼
今長谷寺像有此後新彫歟
兼暦二年正月二日近江国石山寺焼亡如意輪観音
像已為煨燼云云
今所安像有後所塑歟　以上枝桑畧記

○遊女ノ記　傀儡子ノ記ト遊女ハ河陽江口等處ト云テ住ル傀儡子ハ定居ナキ女ト云ヘシ
傀儡子ハ歌舞ヲ業トス
柄竹ト保弓桑皇鳥ヲ歌弾棹歌辻歌等業トス
如ク物ヲ乞ヒ女ヲ賣ル者ハ女ヲ賣ルヲ主トス
云云云云
○洛陽田楽記　師江綱言　永長元年ノ夏洛陽大有田楽之
事ヲ、高足腰鼓銅鈸子編子等ノ藝ヲ之陸王拔
頭ナドノ舞ヲ為ル云云　古ハ多筆ニ
○補諸宮御庄司書式　中宮
廳下　味園ノ御庄司

可令平時範朝臣執行御庄雜務事

右可令件人執行御庄雜務之狀依大夫宣所仰如件

庄宜兼知依宣行之故下ス

康和三年九月二十日　　權少屬兼左京屬中原

右品の者依の條ありて之を七月に

補御庄司

右大臣家　　尾張國富田庄

大膳少進平季政

右久補任下司職可令執行庄務之狀所仰如件

宜兼知依件行之故符ス

令　　従主計允橘磨

別當某

康和五年二月十日

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

青宮牒(ヒキボシ)于　和布(ワカメ)寄于　海松　昆布之

[illegible]

佛文の[illegible]

書[illegible]

之以[illegible]

二十卷[illegible]

官[illegible]

日本国判官正五位上兼行鎮西府大監高階

直人遠成

右可中太試大子中允餘如故

勅日本国使判官正五品上兼行鎮西府大監高

階直人遠成等奉其

君長之命越我會同

之礼越溟波而萬里献方物於三陰所宜褒

賞錫班榮可依前件

元和元年正月二十八日　中書令　閑

中書侍郎平章事臣鄭絪宣

奉　中書舍人臣盧　景亮奉行

勅如右牒到奉行

元和元年正月日

検校司監兼侍中使

門下侍郎平章事　黄掌中書令

給事中登

月日　侍都事　左司郎中

吏部尚書　閻

吏部侍郎宗儒

尚書左丞平章事　左中書

告日本国使判官正五品上兼行領西府大監高階

真人遠成

奉勅

勅如右府到奉行　主事　栄自　令史惣初

員外老次元　書令史

元和元年正月　日下

[illegible]

○二十二卷後宮雜事上

大政官府　伯耆国

従五位下平朝臣忠盛

右去三月二十日任彼国守畢国宜兼知官物一事已上依例分附符到奉行

正四位下行左中將藤原朝臣修理亮［］宿祢

年月日

[illegible]

[illegible]

尾張国司解　申請　天裁事

元禄二年十二月日　正六位上行大原眞人

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan